

●発行者：財団法人安田火災記念財団 〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1

TEL03-3349-3130 FAX03-3349-3133 <http://www.yasuda.co.jp/foundation/> Eメール:fvgp3340@mb.infoweb.ne.jp

## 平成13年度 社会福祉助成

# 「自動車購入費助成」の応募要領決まる！！

平成13年度社会福祉助成としてすでに実施済みの「NPO法人設立資金助成」(3,000万円)に続き、「自動車購入費助成」(10件・1,000万円)を実施します。応募要領は次のとおりです。応募用紙の請求は、当財団あてファックスで(03-3349-3133)。

### ＜応募要領＞

1. 助成対象者 \* (1)~(3)のすべてを満たしていること
  - (1) 福祉活動を行う団体のうち、主として障害者の在宅福祉活動を行う団体  
ただし、加齢に伴う障害者(高齢者)を除く。
  - (2) 西日本地区(中部・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄、ただし新潟県・長野県・山梨県・静岡県を除く)に所在する団体
  - (3) 特定非営利活動法人、社会福祉法人の法人格取得を目指している団体、あるいは、既にそれらの法人格を取得している団体
2. 助成金額  
自動車購入費 1件100万円まで(総額1,000万円)
3. 選考基準
  - ① 原則として購入予定自動車の車両購入価格は、助成金額の2倍以下であること。  
なお、車両購入価格とは諸費用を含まない本体価格をいう。  
(助成の際に、改めて車種・購入先をご相談させていただきます)
  - ② 将来展望を持ち先駆的な活動を行っている団体、既に活動実績のある団体を優先する。
4. 応募方法
  - ① 所定の申込書に内容記載のうえ、財団事務局に郵送する。
  - ② 募集期間 平成13年9月3日(月)~13年9月17日(月)まで(当日の消印有効)
5. 選考方法と助成時期  
平成13年10月開催予定の選考委員会による選考を経て、12月下旬までに助成を実施する予定



# 「NPO法人設立資金助成」贈呈式の開催

平成13年度社会福祉助成「NPO法人設立資金助成」の贈呈式が、全国40カ所の安田火災の部支店により開催されています。お忙しい中、ご協力いただいた部支店の皆様に心から御礼申し上げます。8月15日現在、報告をいただいたマスコミ掲載記事をご紹介します。(主催の部支店・掲載紙・助成先)

1. 岩手支店・8/5 岩手日報	P.2	2. 秋田支店・7/13 秋田さきがけ	P.2
3. 山形支店・7/20 山形新聞	P.2	4. 福島支店・7/18 福島民友	P.3
5. 金沢支店・7/10 北国新聞	P.3	6. 福井支店・7/18 福井新聞	P.3
7. 岐阜支店・7/4 岐阜新聞	P.3	8. 名古屋支店・7/25 中日新聞	P.4
9. 松本支店・7/26 長野日報	P.4	10. 愛知東支店・7/17 東海日日	P.5
11. 三重支店・7/10 伊勢新聞	P.5	12. 滋賀支店・8/4 毎日新聞	P.5
13. 京都支店・7/27 京都新聞	P.6	14. 奈良支店・8/14 奈良新聞	P.6
15. 岡山支店・7/6 津山朝日新聞	P.7	16. 長崎支店・7/25 長崎新聞	P.7
17. 佐賀支店・7/14 佐賀新聞	P.8	18. 鹿児島支店・7/25 大島新聞	P.8
19. 熊本支店・7/26 熊本新聞	P.8	20. 当財団・7/9 保険銀行日報	P.9

## 1. 岩手支店・8/5 岩手日報

・岩手県不登校を考える父母の会

不登校父母会の岡 NPO化後押し盛 安田火災が寄付金 財団法人安田火災記念 財団(有吉孝一理事長) は三日、二〇〇一年度の 民間非営利団体(NPO) 法人設立資金助成金として、県不登校を考える父母会(本部盛岡市・島山俊樹会長)に三十万円を贈った。

助成決定通知書の贈呈式は盛岡市中央通り丁目の安田火災岩手支店で行

した。贈呈者側一人と父母会側三人の合わせて五人が出席した。森合康和支店長が「一日も早く法人化を達成し、わが国の社会福祉に



〔島山俊樹会長①に助成決定通知書を贈る森合康和支店長〕

貢献されるよう期待する(とあいさつ)。島山会長は「早急に法人化の準備を進める。これまで以上に不登校に悩む親子を支えたい」と語った。

同父母会は早ければ〇一年以内に、遅くとも同年度内の法人認証取得を目指す。

## 2. 秋田支店・7/13 秋田さきがけ

・秋田いのちの電話

●秋田いのちの電話に助成金 財団法人安田火災記念財団は12月、秋田いのちの電話(佐藤怜理理事長、秋田市)に、NPO法人(特定非営利活動法人)設立資金として30万円を助成した。同財団は平成11年からNPO法人設立支援を目的として、毎年全国1000団体に対し、計30000万円を助成している。

## 3. 山形支店・7/20 山形新聞

・市民互助型在宅サービスかたくりの会

安田火災記念財団(有吉孝一理事長)の社会福祉活動に対する本県の助成先が、高島町元和田の市民互助型在宅サービスかたくりの会(佐藤敏子代表)に決まり十九日、米沢市の安田火災米沢支社で贈呈式が行われた。同財団は、障害者や高齢者の在宅福祉活動などを行う団体を対象に助成。二年前から、特定非

営利活動(NPO)法人設立を目指す団体に助成している。

かたくりの会は、一九九八年四月に設立。ケアを受ける側も含め二百十人の会員でホームヘルプサービスを行っている。

## かたくりの会に助成

安田火災財団 米沢で贈呈式

4. 福島支店・7/18 福島民友・障がい者自立生活支援センター



社会福祉助成金の贈呈式

船引町にある障がい者自立生活支援センターに對する安田火災記念財団(有善孝一理事長)の本年度社会福祉助成金贈呈式は十八日同センターで行われ、同助成金三十万円が贈られた。式では、安田火災海上保険福島支店長席教育役の伊丹新一さんが「NPO(非営利民間団体)の法人格を取ってくださる」とあいさつ、同センタースタッフに助成金決定通知書を手渡した。

障がい者自立支援センターは、障害を持つ人の自立生活を支援する事業所で、小規模作業所も運営。現在、NPO法人化の認証手続きを行っており、認証取得後は介護保険の指定業者としての業務を行う予定。

引 福祉向上へ助成金  
安田火災記念財団が贈る

5. 金沢支店・7/10 北国新聞・障害者自立センター

NPO設立資金  
金沢の団体に助成  
安田火災記念財団  
財団法人安田火災記念財団は九日、金沢市神田一丁目の「障害者自立センター」にNPO法人(民間非営利団体)設立資金として三十万円を贈った。

同財団では昨年度から法人格の取得を目指す全国の障害者・高齢者福祉活動団体の中から百団体に社会福祉助成金を贈っている。全国の二百七十一団体から申請があった。

6. 福井支店・7/18 福井新聞

・ピハール福井

NPO設立支援へ  
福祉団体に30万円  
安田火災記念財団  
民間の社会福祉団体への助成事業を進める安田火災記念財団は十七日、福祉NPO(民間非営利団体)「ピハール福井」(一乗康純代表)

に社会福祉助成金を贈った。同財団は一九七七年の設立から社会福祉助成を進めており、本年度の県内応募は三件あった。ピハール福井は県内の浄土真宗本願寺派の住職らでつくる福祉団体。福祉施設への訪問交流を続ける、このほど高齢者向けのサロンを開設した。七月中にも県からNPO法人の認証を受ける見込みで、一乗代表は「(助成金は)サロン活動や情報提供などに生かしたい」と話していた。

7. 岐阜支店・7/4 岐阜新聞・外出、介助サービス あんきや



「あんきや」にNPO設立援助金  
安田火災記念財団

安田火災記念財団(有善孝一理事長)は三日、高山市江名子町にオープンした外出・介助サービスの「あんきや」(蒲池龍之助代表)に、NPO(特定非営利活動)法人の設立援助金として三十万円を寄付した。

同財団は毎年福祉団体への寄付を続けている。今年も高齢者・障害者福祉団体がNPO法人となるための資金援助に絞るため、全国百団体に各三十万円を寄付した。

この日、「あんきや」開所式の席で贈呈式があり、安田火災海上保険の吉野恭浩高山支社長から蒲池代表に手渡された。写真。

8. 名古屋支店・7/25 中日新聞

・エスペランサ

県内4団体を助成  
安田火災記念財団

安田火災記念財団の本  
年度の社会福祉法人助成  
に、県内から四団体が選  
ばれ、二十四日、名古屋  
市中区の安田火災海上保  
険名古屋支店で、贈呈式  
があった。助成金三十万  
円を受けたのは、同市天  
白区野並で小規模作業所  
「ゆいまーる」を運営す  
るエスペランサ。同支店  
の伊藤勝行支店長が、倉  
地和彦代表に手渡した。

県内では他に、アスペ  
エルアの会（稲沢市）た  
んぽほハウス（同）ふい  
いる工房（豊橋市）が選  
ばれた。ふいいる工房に  
は十六日贈られ、稲沢市  
の二団体は二十六日、名  
古屋市で贈呈式がある。

9. 松本支店・7/26 長野日報・蓼科ハウス



財団法人安田火災記念財  
団が、NPO（民間非営利  
団体）の設立を目指す社会  
福祉団体に贈る社会福祉助  
成金の贈呈式が二十五日、  
諏訪市の安田火災海上保険  
諏訪支社であり、茅野市豊  
平泉の在宅介護支援「蓼科  
ハウス」の中谷真里子代表  
に、助成金三十万円が贈ら  
れた。

同財団は一九九九年（平成  
十一年）度から、社会福祉  
団体のNPO設立を資金面  
で支援している。三年目の  
今年度は全国の障害者、高  
齢者福祉団体から二百七十  
一件の応募があり、うち百  
団体に各三十万円ずつ、計  
三千万円の助成を決定し  
た。

者を在宅で介護する人など  
が困った時に、年齢や病状、  
障害の程度に関係なく預か  
る在宅介護支援サービスを行  
っている。六月十三日付  
で法人格を取得した。

贈呈式では、同社の吉沢  
和男・松本支店長が大橋正  
嗣・諏訪支社長の立ち会い  
の下、助成金の決定通知書  
を財団に代わって手渡し  
た。中谷さんは「車いすが  
積める送迎用ワゴン車の購  
入資金に充てたい」と感謝  
していた。

蓼科ハウスに助成金

NPO設立資金面で支援

安田火災記念財団

## ふいーる工房に30万円

安田火災海上のNPO助成



神谷さん(左)に助成金30万円を手渡す平澤支店長(右)

安田火災海上保険愛知の応募から四団体を認東支店(平澤昌彦支店定、助成金を出している。長)は、十六日午後一時から同支店九階サンフラワールで豊橋市天伯町の生活支援サービス「ふいーる工房(神谷順子代表)に三十万円を贈った。

安田火災海上保険は、三年前からNPO(特定非営利活動団体)の法人立ち上げを応援しており、毎年全国で百団体、三千万円を助成している。今年も県下で十団体

平澤支店長は「これから活動が確実に広がるので、あろう団体を対象に助成金を出している。市民活動の先駆的な役割を果たしてほしい」と、三十万円を神谷さんに手渡し

ふいーる工房は、色のコーディネートカラーリストの神谷さんが、二年前から高齢者施設や文化教室で養成講座を開いている中で知的障害者の人たちと知り合い、自分の仕事を役に立てられないかとボランティアで活動を始めたのがきっかけ。

豊橋市内の知的障害者(児)施設で出前養成講座を開きながら、色だけでなく音楽、演劇なども専門家が参加して十人体制で障害者支援と同時に家族のレスパイト(一時休息)にもしようとして活動が広がった。このため、NPO法人認可申請を行っており、八月末には正式に法人組織になる。神谷さんは「有償ボランティアですが、責任を持って指導していくためには法人化が必要で、申請費用などに役立てたい」と感謝していた。

## 民間福祉団体に30万円の助成金

津、安田火災記念財団

【津】安田火災記念財団(本部・東京都、有吉孝一理事長)は十日、津市栄町の安田火災海上保険三重支店でNPO法人設立資金の贈呈式を開き、同支店の西村康治支店長が、阿山郡伊賀町で活動す

る民間福祉団体「ふれあいステーション都美恵」(西村郁子代表)に三十万円の助成決定通知書を手渡した。

西村支店長は「地域社会の福祉向上に貢献してくださ」とあいさつし、西村代表は「活動のために、大事に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べた。

「ふれあいステーション都美恵」は、地域の障害者や高齢者を対象にデイサービスや交流会、介護相談支援などを行う。

同財団は昭和五十二年に設立して以来、民間の社会福祉活動を助成しており、平成十一年からはNPO法人の設立



支援をしている。本年度は全国で二百七十一団体から申請があり、百団体に各三十万円の助成を決定。県では同団体が選ばれた。

【写真は西村支店長(右)から通知書を受け取る西村代表たち】

## 12. 滋賀支店・8/4 毎日新聞 ・ワイワイあぼしクラブ、 滋賀県難病連絡協議会

ワイワイあぼしと県難病連絡協議会 安田火災記念財団の 社会福祉助成金贈呈

安田火災記念財団の今年度の社会福祉助成金贈呈団体が決まり、県内からは、NPOワイワイあぼしクラブ(濱口弘代表)と、県難病連絡協議会(大島晃可会長)の2団体が選ばれた。NPO(特定非営利活動)法人設立資金として、各30万円が贈られた。

NPOワイワイあぼしクラブは、石部町内で知的障害者グループホームを運営するなど、障害者の生活を支援。県難病連絡協議会は、難病患者や家族の交流などを進めている。

【宇城野】